

コロナ禍に考える 食品ロスとその影響

～私たち消費者の役割～

講義概要

今、世界では飢えに苦しんでいる人は約8億人。
一方で日本では、一年間に発生する食品ロスは612万トン（2017年度）。
しかも、日本の食料自給率は37%（2018年度）。
身近で私たちにできることはないかを考えてみませんか。

【開催日】

2020年11月5日（木）14:00～15:30

【会場】生涯学習センター3階 研修室1

【対象】市民 【定員】10人（先着順） 【費用】無料

【申込方法】

1F生涯学習広場、2F調査・資料室窓口へ直接申込

もしくはFAX（207-5817） 裏面の申込用紙でご応募ください

講師紹介



佐藤 ミヤ子さん G14-007

（NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会）

【活動分野】

地球環境全般についての相互研修や啓発活動及び講師
（地球温暖化・生物多様性・気候変動気候危機・海洋汚染等）
環境省認定「うちエコ診断」の実施 など

【プロフィール】

NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会（理事）

うちエコ診断実施機関 EC 千葉ネット、千葉市環境審議会委員

千葉市地球温暖化対策地域協議会委員、千葉県地球温暖化防止活動推進員



申込用紙 FAX: 043-207-5817

直接窓口、もしくはFAXでお申し込みください。

直接応募は1階生涯学習広場、2階調査・資料室のカウンターへ

コロナ禍に考える 食品ロスとその影響

氏名（フリガナ）

年齢

連絡先

～講座に参加される皆さまへ～

○来館前に検温していただき、受講の際には必ずマスクを着用してください。

また、当施設内での新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。

○次の方は、参加をご遠慮ください。

- ▶ 普段より熱が高い場合、息苦しさや強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ▶ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
- ▶ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への訪問歴がある場合、当該在住者との濃厚接触がある場合

[個人情報取扱について]

講座・イベントに参加される方の氏名や連絡先は、必要に応じて保健所等の公的機関に提供することがあります。

